



## 由利本荘市総合防災訓練

9月2日(土)、由利本荘市の総合防災訓練が東由利地域で行われ、東由利小学校も会場の一つとなりました。

午前8時00分の地域全体への放送を合図に、「**シェイクアウト訓練**」を行いました。地震想定であり、基本動作が「低くしゃがむ」「頭を守る」「じっと待つ」ですので、子どもたちは机の下に入ることで、3つの動作を一度に行いました。

その後、放送の合図で、避難訓練を行いました。通常はグラウンドへの避難ですが、雨天のため体育館への避難に変更しました。子どもたちは、真剣な態度で行うことができました。

避難訓練に引き続き、防災に関わる2つの体験をしました。

- (1) **消火体験** : 一人ずつ、水消火器を使って火のイラストの的を狙いました。
- (2) **煙体験** : 校舎前に設置された煙が充満したテントの中を一人ずつ歩きました。子どもたちの印象として煙の「(甘い?) 匂い」が残ったようですが、本来のねらいは視界の悪さを体験するものでした。

雨天のため、残念ながら、もう一つ予定していた**地震体験**はできませんでした。

最後に、**由利本荘市消防団女性部による防災講話**を聞きました。地震が起きたら、「ダンゴムシのポーズ」「頭を上げて、目を開けて」など、自分の体を守るために大切なことを教えていただきました。

事後、由利本荘市から子どもたち全員に、非常用備蓄に適した飲料水をいただきました。



### ～ タイピングの力を試したり、伸ばしたりしてみませんか? ～

由利本荘市では、「ゆりほん」CT子供の学びアップデートプランの一環として「**学ぶんタイピング競技会**」を開催しています。これは、子どもたちが(大人も)目標をもってキーボード入力の練習に取り組むことで、スキルの向上を目指すものです。

開催期間 7月18日(火)～9月29日(金) ※応募締め切り日 9月29日(金)  
※期間内に何度でも応募することができます。  
※一番良いスコアのみを順位決定に使用します。

参加部門 小学生低学年の部(小1～小3) 小学生高学年の部(小4～小6)  
中学生の部(中1～中3) 児童生徒の家族の部 教職員の部  
※各部門の上位10名程度の方に賞状が授与されます。  
※結果は由利本荘市教育委員会のホームページで紹介されます(10月上旬頃)。

応募方法 由利本荘市教育委員会のホームページ(学ぶんポータル)内の教育支援センターのページから申し込みができます。  
<https://edu2.city.yurihonjo.lg.jp/>  
お問い合わせは右のQRコードからできます(タブレット端末、ご家庭のパソコン、タブレット端末からできます)。



※別紙「『学ぶんタイピング競技会』Q&A」も参考になさってください。

## 壁面ペイント体験（3・5年生）

8月28日(月)、Hello Mellow Yellowさん主催の壁面ペイントのイベントに、3年生と5年生が参加しました。

子どもたちは、東由利地域の「ふれっそ」内のテナントの壁面に、思い思いの絵やデザインや文字をかき込みました。

自由な表現を楽しむとともに、「夢」に思いを馳せる貴重な時間となりました。



### ～ 夏休み作品展から ～

9月1日(金)に終えた夏休み作品展において、印象に残った作品を紹介いたします。今年度も、佐藤\*\*の独断により、下記の観点の中のいずれかまたは複数に当てはまると考えたものです。

- 独自性が高いもの・興味深いテーマであるもの
- 学年相応またはそれ以上の時間がかげられたと予想できるもの
- 作成中の親子や家族のほほえましい会話が想像できるもの

1年	畠山	**	さん	「ひまわりのちぎりえ」(デザイン)：一つの色紙の細かさに驚きました。切るも貼るも時間がかかったと思います。
1年	保坂	**	さん	「かみこっぷどらごん」(工作)：紙コップの形を生かしながら細かな切れ込みを入れ、それを組み立てるという根気の必要な作品です。
1年	高橋	**	さん	「きょうりゅうのペーパーくらふと」(工作)： カッターを使うところはお家の人が手伝ってくれたそうです。詳細なつくりの恐竜を楽しく会話しながら作ったことでしょう。
2年	小野	**	さん	「アブとりオニヤンマ」(工作)：軽い素材の使用や深みのある着色への工夫が感じられました。
2年	小松	**	さん	「むしの図かん」(研究)：何日もかけて、実際に見つけた昆虫の写真を載せて図鑑にしています。「羽化」の記録写真もありました。
3年	小松	**	さん	「須郷田のしめなわ作り」(観察記録)：地域の伝統的な行事の記録です。貴重な資料となります。
4年	高橋	**	さん	「知ってる？虫の起き上がり方」(研究)： 目の付け所がおもしろく、どんな虫を取り上げていて、どんな起き上がり方をするのか興味をそそられました。
6年	清水	**	さん	「介護について」(調査)：圧倒的な情報量に驚きました。
6年	菅原	**	さん	「月の研究」(研究)：毎日同じ時刻に観測を続けることは、大変な努力と根気が必要です。写真を撮ったのも◎
6年	高橋	**	さん	「色によって暑さの感じ方はちがうのだろうか」(研究)： 目的に合わせた実験、結果の表現(表、グラフ)、インターネットの活用などにより、良くまとまっていました。

まずは、一人一研究・一作品に取り組んで「夏休み作品展」に出品した全ての子どもたちのがんばりを讃えるとともに、お家の方のご協力に感謝いたします。子どもたちは暑い夏に負けずによくがんばってくれました。

今年度の自由研究では、インターネットや図鑑などで調べたことをノートや模造紙などにまとめたものが多いと感じました。自分が興味をもったことを調べる学習は、それだけでとても楽しいものだと思います。ただし、調べた内容をそのまま書き写したり印刷したりしただけでは「思考」や「体験」があまり期待できません。

- ・目的に合わせた実験や観察をすること
- ・実物を見たり、実際にその場に行き行って確かめてみたりすること
- ・それらを基にして、自分なりの「考察」を加えること

このようなことに大きな価値があり、小学生の時に経験することはその後の大きな財産となります。来年ぜひ挑戦してみてください。

また、「あと一歩で上に名前を載せられる」という研究がとても多かったのも特徴的でした。おもしろいテーマで実験や観察や調べ活動にとりかかっているものの、単純な作業でとどまってしまったものです。もう一工夫するだけでとてもよい研究になると考えると、もったいないなと思いました。目の付け所がいい研究が多くありましたので、今後期待しています。